



株式会社 アイネット

2024 年 3 月期第 2 四半期決算説明会

2023 年 11 月 8 日

イベント概要

[企業名]	株式会社アイネット		
[企業 ID]	9600		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2024 年 3 月期第 2 四半期決算説明会		
[決算期]	2023 年度 第 2 四半期		
[日程]	2023 年 11 月 8 日		
[ページ数]	18		
[時間]	15:30 – 15:50 (合計：20 分、登壇：17 分、質疑応答：3 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	2 名		
	代表取締役 兼 社長執行役員	佐伯 友道 (以下、佐伯)	
	代表取締役 兼 専務執行役員	内田 直克 (以下、内田)	

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com

登壇

司会：本日はお忙しい中、株式会社アイネット、2024 年 3 月期第 2 四半期決算説明会ライブ配信にご参加いただき、誠にありがとうございます。

まず初めにご報告させていただきたいことがございます。弊社創業者会長、池田典義が 2023 年 10 月 24 日に永眠いたしました。ここに生前のご厚誼を深謝し、謹んでご報告申し上げます。

それでは、決算説明会を開始させていただきます。

本日の出席者をご紹介します。

株式会社アイネット、代表取締役 兼 社長執行役員、佐伯でございます。

佐伯：よろしくお願いいたします。

司会：代表取締役 兼 専務執行役員、内田でございます。

内田：よろしくお願いいたします。

司会：続きまして、本日の流れをご説明いたします。まず初めに、佐伯、内田より決算説明をさせていただきます。その後、質疑応答のお時間とさせていただきます。質疑応答につきましては、Zoom アプリの Q&A 機能に決算説明会開催の間、質問を受け付けております。Zoom アプリ画面上の Q&A ボタンを押していただくと、質問のための画面が表示されます。

ご質問のある方は、会社名、お名前をご入力の上、質問事項をご入力いただき、送信ボタンを押してください。なお、本日はお時間の都合上、全ての質問に回答しかねる場合がございます。あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。

それではお時間となりましたので、始めさせていただきます。佐伯社長、よろしくお願いいたします。

佐伯：アイネット社長の佐伯でございます。当社決算説明会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。本日はオンラインにて開催をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、2024 年 3 月期第 2 四半期決算に関するご説明をさせていただきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



目次



サマリー・ 業績予想	業績サマリー	P.5	参考) トピックス	P.18
	四半期業績サマリー	P.6		
	業績進捗の状況	P.7		
サービス別	情報処理サービス	P.8	参考) ESG/SDGs経営	P.20-P.23
	システム開発サービス	P.9		
	サービス別売上高の推移	P.10		
財務状況	連結貸借対照表サマリー	P.11	参考) 当社の概要	P.25-P.34
	連結キャッシュフローサマリー	P.12		
2024年3月 期計数	前年同期との比較	P.13		
	サービス別業績(第2四半期)	P.14		
配当	配当	P.15		

本日のご説明内容でございます。最初に、2024年3月期第2四半期の業績の概要をご説明いたします。その後で事業を統括しております専務の内田より、サービス別の状況、財務状況についてご説明いたします。

それではまず、業績のサマリーです。

サポート

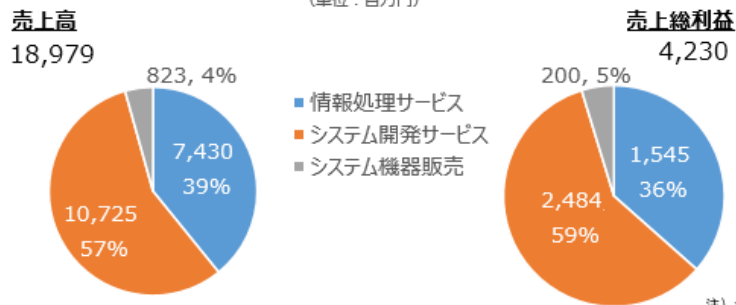
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



売上高		前年同期比増減額	同増減率
18,979 百万円		+2,171 百万円	+12.9%
営業利益			
1,575 百万円		+516 百万円	+48.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益			
1,041 百万円		+393 百万円	+60.7%

サービス別構成

(単位: 百万円)



©2023 I-NET Corp. All Rights Reserved

注) 金額は小数点以下切り捨て、前期比増減率は小数第2位まで四捨五入。

5

四半期累計売上高は好調、過去最高

- 情報処理サービスは、引き続き順調に推移。SaaS向けクラウドサービス収入増に加え、メーリングサービスも復調。プロパンガス向け販売管理プラットフォーム「プロパネット」等の自社サービスも順調に推移。
- システム開発サービスは、受託案件の一部で開発の遅れや衛星の打上げ延期等の外部要因による遅れが発生したものの、インボイス対応、金融系自社サービスの開発案件等が好調に推移したことで、増収を達成。

四半期累計営業利益は、増収効果と原価低減が奏功、前年同期比大幅増

- 昨年来の電気料金高騰が一服、データセンターを省エネ化することで、原価低減を実現。増収効果も加わり、売上総利益は前年同期比+700百万円増。
- 人件費増を主とした販管費の増加分をも吸収し、営業利益は大幅な増益となった。

四半期累計当期純利益も順調

- 当連結結果計期間中、大きな特別損失計上はなし。
- 純利益は通期予想2,020百万円の51.6%に達する。

株主還元を強化

- 2024年3月期配当は年間1株当たり52円を予定。
- 株主優待も拡充、9月末100株保有から優待(500円QUOカードPay)の対象に変更。
- 2023年9月末の株主数は2年間で倍増の10,154人。100株以上保有の単元株主は半年間で約1.7千人増加し、9月末時点で7千人を超えた。

数字はご覧の通り、売上高は189億7,900万円、前年同期比12.9%増。営業利益15億7,500万円、前年同期比48.7%増。親会社株主に帰属する四半期純利益10億4,100万円、前年同期比60.7%増となりました。売上高は好調に推移し、過去最高を記録いたしました。

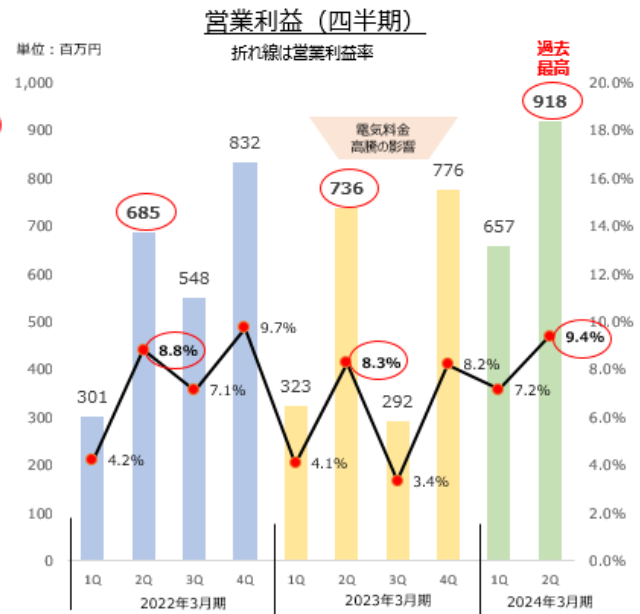
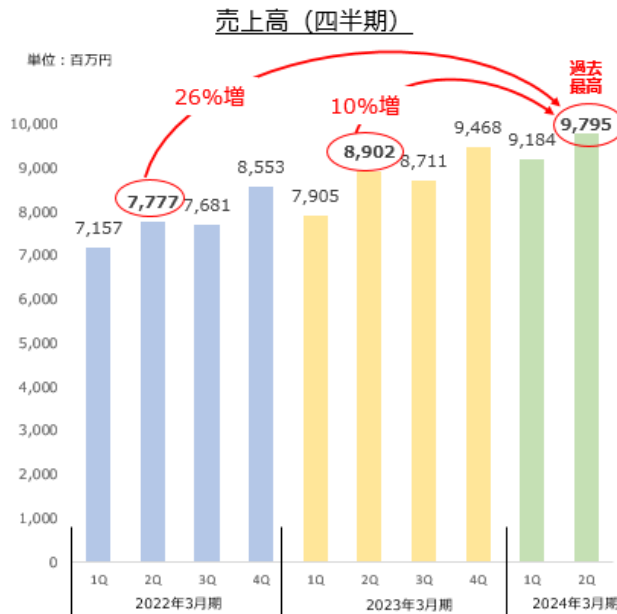
営業利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、昨年来の電気料金高騰が一服、データセンターの省エネ化をしたことで、原価低減を実現しております。さらに、増収効果も加わることで、前年同期比を大きく上回る結果となりました。

次に、株主還元についてご説明いたします。今期2024年3月期の1株当たりの配当金は、年間52円を予定しております。株主優待を拡充いたしまして、9月末時点100株以上保有の株主様から優待の対象といたしました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

四半期業績サマリー



2024年3月期第2四半期：四半期業績は過去最高、営業利益率は前年、前々年同期も越える9.4%

- 当四半期売上高は、前年同期比10%増、前々年同期比26%増、と順調に成長。
- 当四半期営業利益も過去最高、電気料金高騰の影響を脱し、営業利益率も高い水準を維持。

©2023 I-NET Corp. All Rights Reserved

注）金額は小数点以下切り捨て、営業利益率は小数第2位まで四捨五入。

6

次に、2024年3月期四半期毎の業績をご説明いたします。比較のため、2022年3月期、2023年3月期と比べてお示ししております。

売上高、営業利益ともに四半期ベースで前年同期比プラスとなり、過去最高となりました。営業利益率をご覧ください。電気料金高騰の影響を脱し、前年、前々年同期を上回る高い利益率を達成しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



業績進捗の状況



売上高は想定範囲内で推移、原価低減効果により、利益率は改善、利益は上振れて推移中
但し、外国為替、国際情勢の変化に伴う、原材料価格、特に電気料金への今後の影響等を
考慮して、2024年3月期通期業績予想は据え置く。

(単位：百万円)	2024年3月期 第2四半期累計	2024年3月期 通期業績予想 (2023年5月9日開示)	第2四半期までの 進捗率
売上高	18,979	37,700	50.3%
営業利益	1,575	2,750	57.3%
経常利益	1,601	2,900	55.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,041	2,020	51.6%
営業利益率	8.3%	7.3%	+1.0ポイント
経常利益率	8.4%	7.7%	+0.7ポイント
当期純利益率	5.5%	5.4%	+0.1ポイント

©2023 I-NET Corp. All Rights Reserved

7

続きまして、2024年3月期業績進捗の予想について述べさせていただきます。売上高は、通期業績予想377億円に対し189億7,900万円となり、進捗率は50.3%と、期初の想定範囲内で推移をしております。

営業利益は、通期業績予想の27億5,000万円に対しまして、15億7,500万、進捗率は57.3%、経常利益は通期業績予想の29億円に対しまして、16億100万円、進捗率は52.2%、当期純利益は通期業績予想の20億2,000万に対しまして10億4,100万円、進捗率は51.6%であります。

前期から原価の高騰を受けまして、クラウド、データセンター向けサービスの販売価格を見直し、データセンター内の機器を省エネタイプに切り替えるなど、原価抑制に努めてまいりました。これらの施策により、売上総利益率が改善し、利益も上振れて推移をしております。

国際情勢の変化に伴う原材料価格、電気料金への影響等を考慮しまして、2024年3月期通期業績予想は据え置いております。ただし、当社はさらなる売上増により、利益の確保および販管費の削減等により、引き続き業績予想を上回ることを目指しております。

次に、各サービスの状況および財務状況につきまして、事業統括の内田よりご説明申し上げます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



情報処理サービス

データセンター・クラウドサービス

- ✓ 自社クラウドサービス
- ✓ 法人(SaaSなど)向けクラウドサービス
- ✓ 法人向けコロケーションサービス

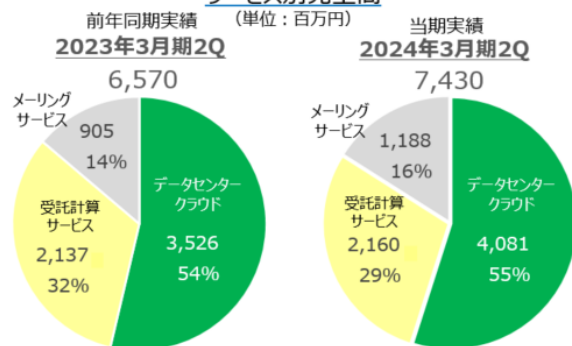
受託計算サービス

- ✓ SS（サービスステーション）向け販売管理・代金決済プラットフォーム（日本国内シェア3割強）
- ✓ プロパンガス業者向けスマートメーター対応の課金決済プラットフォーム（ブランド名「プロパネット」）

メーリングサービス

- ✓ 一般法人、行政機関向け印刷・郵送サービス
- ✓ 印刷物とメールのハイブリット配信サービス

サービス別売上高



©2023 I-NET Corp. All Rights Reserved

注) 金額は小数点以下四捨五入、合計と内訳、増減が一致しないことがあります。前期比増減率は、小数第2位まで四捨五入。

内田：事業統括の内田です。ここからはサービス別の状況についてご説明いたします。

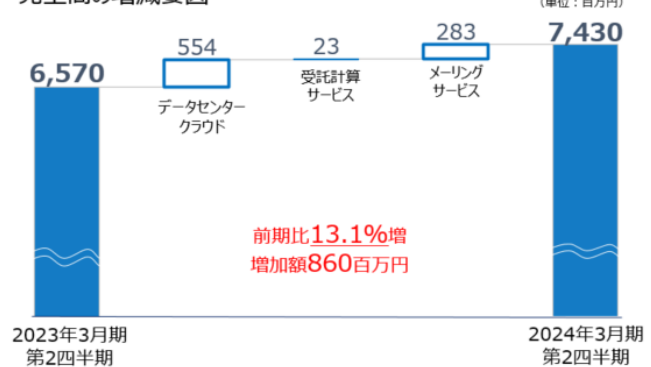
まずは情報処理サービスの当第2四半期、連結累計期間の売上高と売上総利益の構成、およびその増減要因についてご説明いたします。

情報処理サービスは、データセンター・クラウドサービス、ガソリンスタンド向けの受託計算サービスおよびメーリングサービスの三つで構成されております。

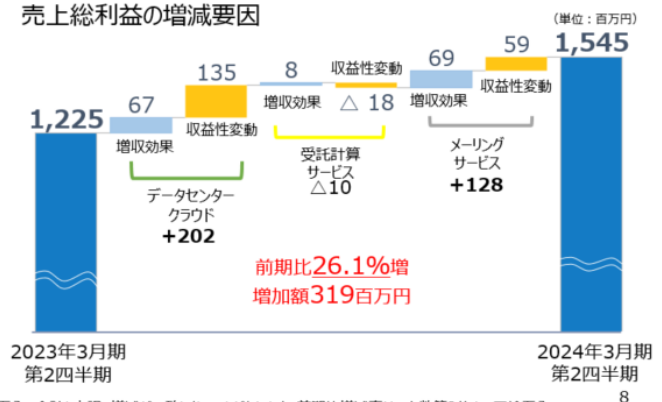
向かって左下の円グラフをご覧ください。情報処理サービスの売上構成を示しております。2024年3月期第2四半期売上高は、データセンター・クラウドサービスが40億8,100万円となり、情報処理サービスの55%を占めております。以下同様にガソリンスタンド向けの受託計算サービスが21億6,000万円で、売上構成の29%、メーリングサービスが11億8,800万円で、売上構成の16%となりました。

向かって右上の棒グラフをご覧ください。情報処理サービスの売上高の増減要因について記載しております。当期は三つのサービス全てで増収を確保しております。特にデータセンター・クラウドサービスが好調に推移しております。

売上高の増減要因



売上総利益の増減要因



サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

向かって右下の棒グラフをご覧ください。情報処理サービスの売上総利益の増減要因について、サービス別に記載しております。データセンター・クラウドサービスが価格改定、原価低減により収益性が高まっており、増益に大きく貢献しました。

また、メーリングサービスは受注が好調に推移した上、原価低減にも努めた結果、大幅な増益を達成しております。

システム開発サービス

受託開発請負

- ✓ エネルギー産業関連向けシステム
- ✓ 金融機関向けシステム
- ✓ 交通システム関連向けシステム
- ✓ 宇宙関連システム（受託開発、検査／試験、運用／評価解析）
- ✓ 流通産業、一般法人、製造業向けシステム
- ✓ セキュリティ関連システム
- ✓ 通信事業者向けシステム
- ✓ 組込制御関連システム

システム商品開発

- ✓ 金融系商品（無担保ローンシステム：ローンレンジャー、金融機関原価管理システム：ABC Financial など）
- ✓ クレジット決済システム（i-Gateway）Pos連動決済システムなど
- ✓ セキュリティ関連（脆弱性診断、Darktraceなど）
- ✓ DX関連商品（業務効率化システム各種、RPAなど）

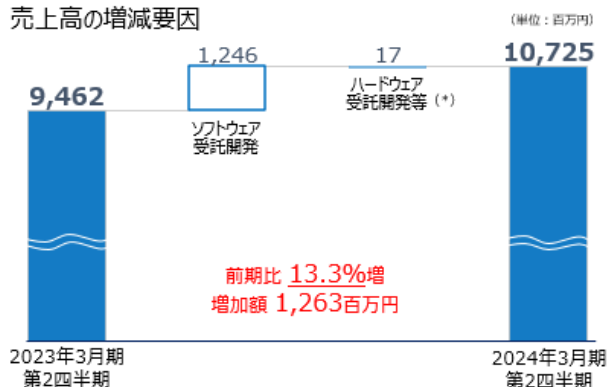
サービス別売上高

売上高 (単位：百万円)	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減率
ソフトウェア受託 開発	8,539	9,785	14.6%
ハードウェア受託 開発他	922	939	1.8%

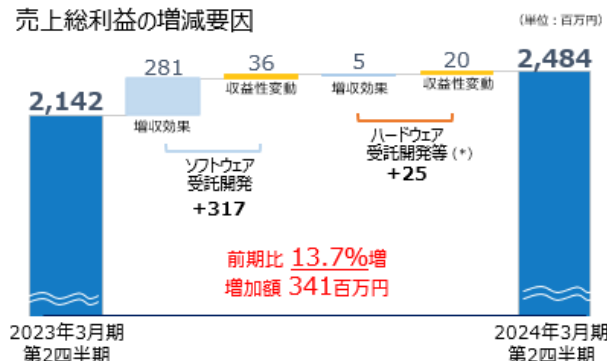
(*) ソフトウェア受託開発に付随するもの

©2023 i-NET Corp. All Rights Reserved

売上高の増減要因



売上総利益の増減要因



注) 金額は小数点以下四捨五入、前期比増減は小数第2位まで四捨五入。

9

次に、システム開発サービスの当第2四半期連結累計期間の売上高と売上総利益の構成、およびその増減要因についてご説明いたします。

システム開発サービスは、ソフトウェアの受託開発とハードウェア受託開発との二つで構成されております。ソフトウェアの受託開発が売上の約90%を占めております。

向かって右上の棒グラフをご覧ください。システム開発サービスの売上高の増加について、サービス別に記載しております。二つのサービスとも増収となっております。特にインボイス対応や金融業向け開発案件等が好調に推移しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

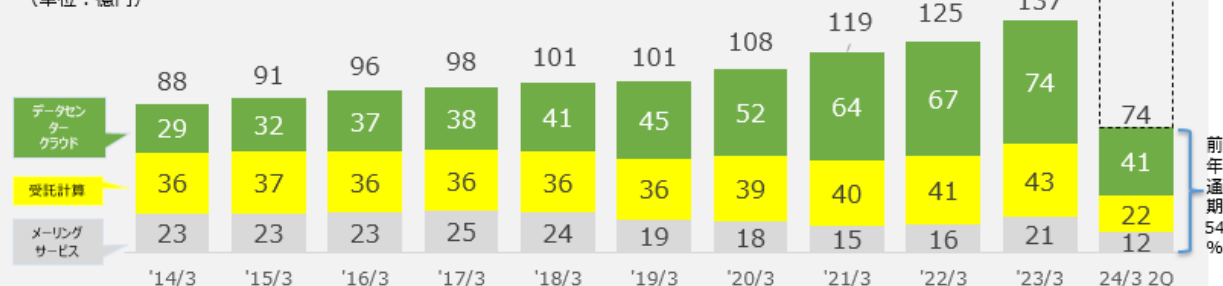
次に、売上総利益についてご説明いたします。向かって右下の棒グラフをご覧ください。売上総利益の増加についてサービス別に記載しております。ソフトウェア受託開発が3億1,700万円の増益となっております。増収による利益の増加が寄与いたしました。ハードウェア受託開発等も増益を確保できております。

サービス別売上高の推移



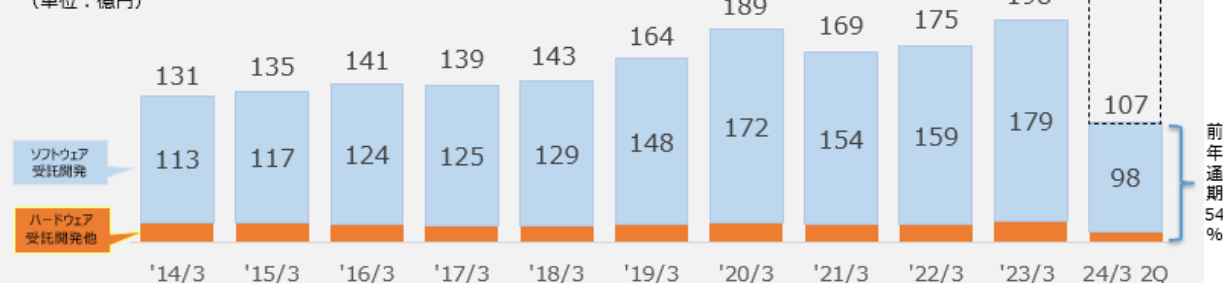
情報処理サービス

(単位：億円)



システム開発サービス

(単位：億円)



©2023 i-NET Corp. All Rights Reserved

注) 金額は億円未満四捨五入、内訳合計と合計額が合わないことがあります。倍率は小数第2位以下切り捨て。

10

以上、これまでご説明いたしました、当社の二つの主要サービスの過去10年間の売上高の推移についてご説明いたします。

当社はストック型の情報処理サービスが景気に左右されにくく、安定的な収益を生み出す一方で、フロー型のシステム開発サービスが景気の波を取り込む形で収益を上乗せすることで、増収基調を維持してまいりました。ストック型ビジネスとフロー型ビジネスからの収益が相互に補完しつつ、バランスを取り合うことで全体の収益を生み出してまいります。

情報処理サービスについてご説明いたします。当サービスは一貫して増収基調を維持してきました。当社が注力してきたデータセンター・クラウドサービスの売上高が、この10年間で市場の成長とともに大きく増加したことがお分かりいただけると思います。当第2四半期連結累計期間の売上高は、既に前年通期の情報処理サービスの54%に相当する売上高を計上しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



続いてシステム開発サービスについてご説明いたします。同サービスも社会の動きに業績が左右されながらも増収基調を維持してきました。2021年3月期に新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に売上高が落ち込みましたが、2023年3月期は過去最高となる198億円となっております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、情報処理サービスと同様、前年通期のシステム開発サービスの54%に相当する売上高を計上し、当社二つの主要サービスは好調に推移しております。

連結貸借対照表サマリー



前期末（2023年3月末）

（単位：百万円）

流動資産 10,246 現預金2,310 売掛金7,287	負債 15,048 流動9,294 固定5,753 有利子負債 短期3,068 長期5,239
固定資産 22,384 建物構築物10,362 土地2,966 無形固定資産2,093 投資有価証券3,566	純資産 17,582

総資産32,630、自己資本比率53.9%

2024年3月期第2四半期末

（単位：百万円）

流動資産 12,112 (前期末比+1,866) 現預金3,738 売掛金7,511	負債 16,609 (前期末比+1,560) 流動11,862 固定4,747 有利子負債 短期3,584 長期4,065
固定資産 23,240 (前期末比+856) 建物構築物10,139 土地2,959 無形固定資産2,295 投資有価証券4,283	純資産 18,743 (前期末比+1,161)

総資産35,352、自己資本比率53.0%

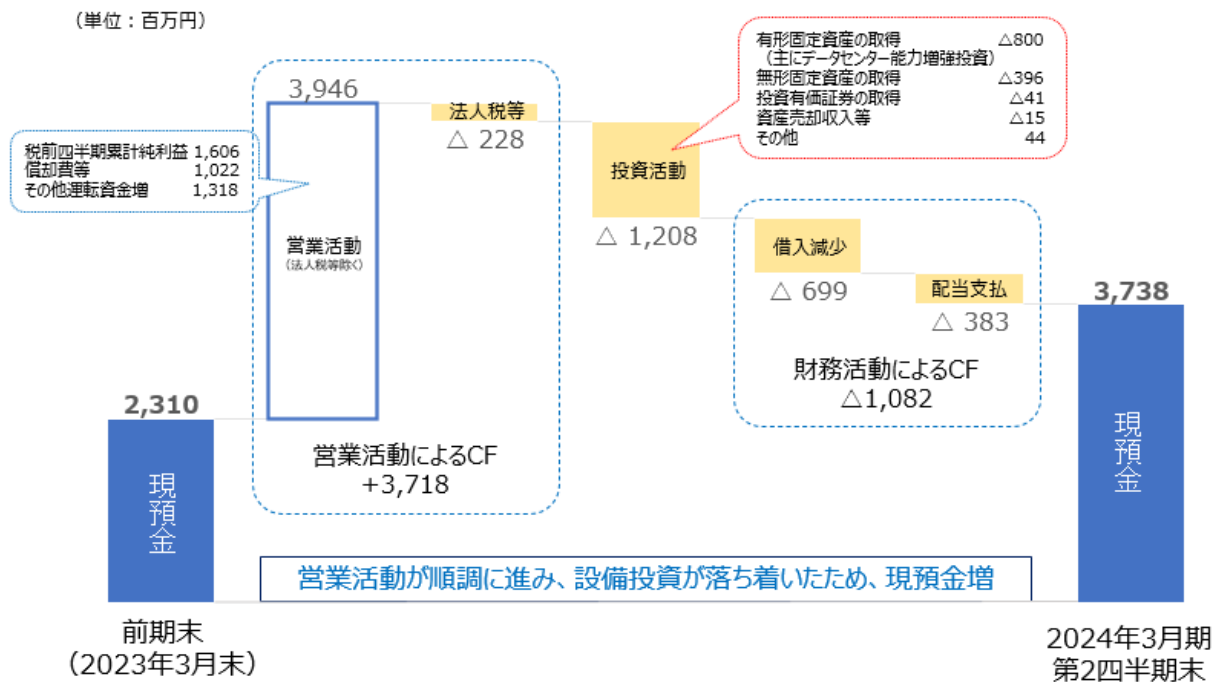
続きまして、連結貸借対照表についてご説明いたします。2024年3月期第2四半期末の総資産残高は353億5,200万円となり、前期末比で27億2,200万円増加いたしました。総資産が前期末比で増加した主な要因は、現預金および株価上昇に伴う投資有価証券の増加等によるものであります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



連結キャッシュフローサマリー



注) 現預金残高は小数点以下切り捨て、内訳は原則小数点以下四捨五入。

©2023 i-NET Corp. All Rights Reserved

12

次に連結キャッシュフローにつきましてご説明いたします。2024年3月期第2四半期末キャッシュフローは、営業活動で得たキャッシュフローが37億1,800万円となりました。投資活動によるキャッシュフローは12億800万円の支出となりました。

投資活動の内訳にあります有形固定資産への設備投資8億円は、主にデータセンターの能力増強に伴うものであります。財務活動においては、有利子負債の返済および配当金の支払などにより10億8,200万円キャッシュアウトしておりますが、営業活動が順調に進んだ結果、第2四半期末の現預金は前期末比で14億2,800万円増加いたしました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



前年同期との比較



(単位：百万円)	2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		前年同期比	
	金額	売上対比	金額	売上対比	増減額	増減率
売上高	16,808	100.0%	18,979	100.0%	2,171	12.9%
売上原価	13,278	79.0%	14,749	77.7%	1,471	11.1%
売上総利益	3,530	21.0%	4,230	22.3%	700	19.8%
販管費	2,470	14.7%	2,654	14.0%	183	7.4%
営業利益	1,059	6.3%	1,575	8.3%	516	48.7%
経常利益	1,074	6.4%	1,601	8.4%	526	49.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	648	3.9%	1,041	5.5%	393	60.7%

注) 金額は小数点以下切り捨て、増減率は小数第2位まで四捨五入、達成率は小数点以下四捨五入。

13

次はご参考といたしまして、2024年3月期第2四半期の業績を、前年同期との比較でまとめたものをお付けしております。ご覧の通り、売上高、営業利益、経常利益および四半期純利益、全てにおいて前年同期を上回る業績となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



サービス別業績（2024年3月期第2四半期）



(単位：百万円)		2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		前年同期比	
		金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
情報処理サービス	売上高	6,570	--	7,430	--	860	13.1%
	売上総利益	1,225	18.7%	1,545	↑ 20.8%	319	↑ 26.1%
システム開発サービス	売上高	9,462	--	10,725	--	1,263	13.3%
	売上総利益	2,142	22.6%	2,484	↑ 23.2%	341	↑ 16.0%
システム機器販売	売上高	776	--	823	--	47	6.1%
	売上総利益	161	20.8%	200	↑ 24.3%	38	↑ 23.7%
合計	売上高	16,808	--	18,979	--	2,171	12.9%
	売上総利益	3,530	21.0%	4,230	↑ 22.3%	700	↑ 19.8%

©2023 inet Corp. All Rights Reserved

注) 金額は小数点以下切り捨て、利益率は小数点以下、増減率は小数第2位まで四捨五入。

14

サービス別の 2024 年 3 月期第 2 四半期実績です。参考値として、各サービス別の全てのサービスにおいて売上、売上総利益とも前年同期を上回り、利益率も改善いたしております。

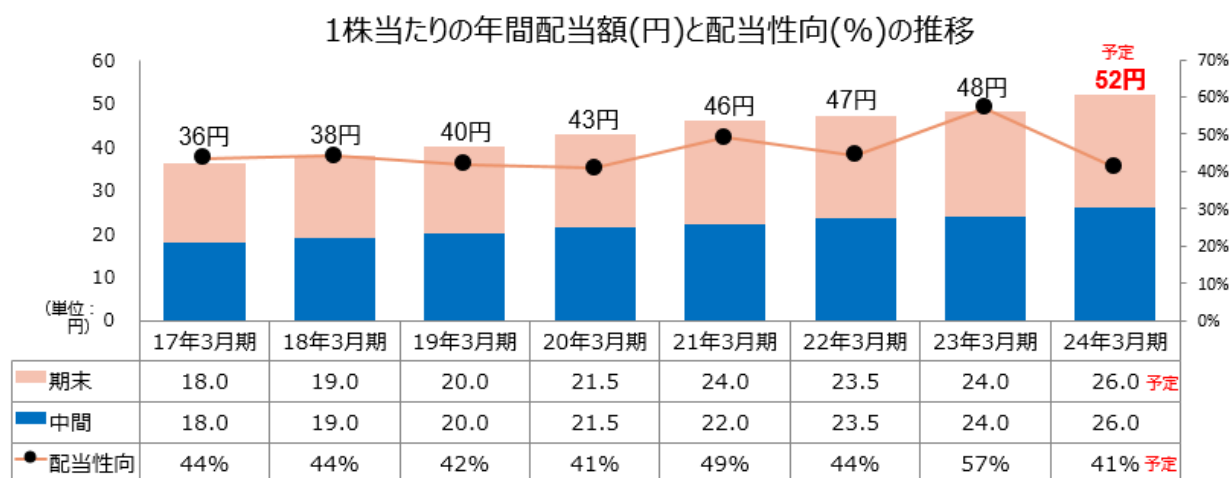
私からは以上でございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



2024年3月期第2四半期 配当金額 1株当たり配当額26円（中間配当）
年間配当額は1株当たり52円（前期比4円増）を予定
配当性向40%以上を維持、12期連続増配を目指す



©2023 I-NET Corp. All Rights Reserved

15

佐伯：それでは配当についてご説明いたします。当社の配当方針は、安定的な配当を継続して実施するとともに、内部留保に努めて、今後発生する資金需要などの対応を図ることです。2024年3月期第2四半期連結決算に対する配当金につきましては、1株当たり26円、2024年3月期につきましては、通期合計で52円となり、前期比4円増の配当実施を見込んでおります。

なお、配当性向は約41%、12期連続の増配となります。引き続き安定した配当の実施に心がけてまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

情報技術で*Enjoy Life*を応援します

<免責事項>

- 本資料は、当社グループの業績及びグループの事業戦略に関する情報提供を目的としたものであり、当社及び当社グループの株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載しています。これらの情報は資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されており、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- 本資料を利用した結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



visit our website

<問合せ先>

株式会社アイネット経営戦略・IR部
TEL 045-682-0806
E-Mail contact_ir@inet.co.jp

本資料に関するご質問を歓迎します。
ご質問はMailをお願いします。

©2023 I-NET Corp. All Rights Reserved

以上が、2024年3月期第2四半期決算についてのご説明となります。また、当社に関するトピックスについては資料に記載しておりますので、後ほどご覧ください。

私からの説明は以上でございます。今後ともご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。ご清聴、誠にありがとうございました。

司会：佐伯社長、内田専務、ありがとうございました。決算説明は以上となります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

質疑応答

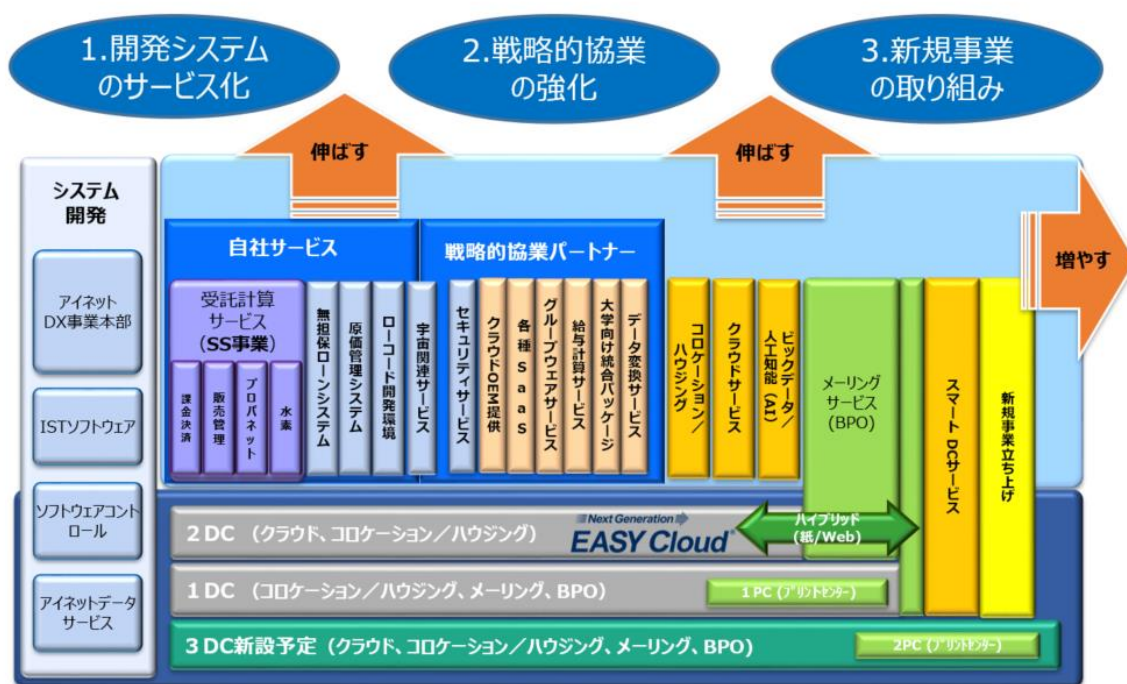
質問者 [Q]：これより質疑応答に移らせていただきます。ご質問をいただきましたので、読み上げます。

事業戦略を打ち出しているようですが、詳細を教えてください。

事業戦略



社会が如何に変わろうとも、当社グループは変化に合わせた形で、プラットフォーム上のサービス・パートナーを**伸ばし、増やす**ことで成長する



©2023 I-NET Corp. All Rights Reserved

28

佐伯 [A]：ただいまのご質問、今年の春に新たなというか、図解入りで事業戦略ということで発表をさせていただきました。これは決して新しいものではなくて、過去を振り返って一番強い形であろうということで、従来からの戦略を整理して7月に公表させていただいたものです。

当社はデータセンターをプラットフォームとして、時代の変化に合わせた形でお客様の求めるサービスを提供しております。既にさまざまな業種、業態に向け、プラットフォーム上で自社サービスを展開してきましたが、今後はこのプラットフォーム上に新たなサービスやパートナーを増やし、伸ばすということで、より高い成長を達成していく方針でございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



また、戦略的な投資や提携、スタートアップ企業への支援、連携も推進してまいりたいと思っております。以上、お答え申し上げます。

質問者 [Q]：佐伯社長、ありがとうございました。次にいただいた質問を読み上げます。

去年は電気代高騰の影響が出ておりましたが、今期はどのような対応を行っていますか。

佐伯 [A]：電気代については、年間の決算時、前期数年ぶりの下方修正ということで減益になってしまいましたこと、いろいろご心配をかけたのではないかと思っております。今期につきましては、主にデータセンターの省エネ対策と価格の見直しで対応しております。電気代が上がれば価格を見直すと契約という形に契約そのものを少し変えさせていただいて、今期走っているところでございます。

それから、データセンター内の機器を省エネタイプのものに切り替えをしたり、建屋内の全ての電気を LED に替えたり、サーバーについても省エネ効果の高い機器へ順次切り替えを行うことで、原価低減に努めてまいっております。電気代高騰対策ということで以上の施策を今期は行ってきました。以上、お答え申し上げます。

司会 [M]：佐伯社長、ありがとうございました。他に質問はございますでしょうか。

他に質問はございますでしょうか。

ないようですので、これにて本日の決算説明会を閉会とさせていただきます。決算説明会終了後にご質問がある場合は、スライドの一番後ろのページにあります連絡先までご連絡ください。なお、本日の模様は後日アーカイブを当社ホームページにて公開いたします。

本日はお忙しい中、ご参加いただき誠にありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com